

第02回の演習課題

演習課題 ex02-0

この科目で利用するC言語のプログラミング環境を構築して下さい。

講義パートで説明した幾つかの方法[nano や Visual Studio Code]をお勧めしますが[C言語のプログラミングが可能であればそれ以外の方法でも構いません。ただし、試験などでも利用することになると思いますので、自分自身のプログラミング作業が「より楽になる」環境を構築しておくことをお勧めします。

参考

- [WSL2\[Windows Subsystem for Linux version2\]を導入する](#)
- [WSL2でC言語開発環境を準備する](#)
- [macOSのC言語開発環境を準備する](#)
- [Visual Studio Code\[エディタ\]のインストール\(中野\)](#)
- [WSLのための Visual Studio Code の設定](#)
- [WSL と Windows とのファイル共有](#)

この科目での質問方法

科目に関する質問がある場合は、必ずTeamsの質問用チャネルを経由して質問してください。ただしTAは原則として科目の開講時間のみに対応となります。さのは時間外でも対応する(かも)しれません。

さのに加えてTAも時間外でのオンラインの質問対応が可能となりました。ただし、科目時間内とは異なり、いつでも必ず対応できるとは限りませんので、そのつもりでご利用下さい。時間外でのTA対応を可能とするため、科目時間内での質問応答が若干滞ることがあるかもしれません。その場合も、順番に質問対応は行いますので他の作業をしながら気長にお待ち下さい。

また、科目の開講中は常にTeams会議を立ち上げておきます(予定)ので、そこで直接音声で質問してもらっても構いません(もちろん会議参加者に共有されます)。

Teamsチャネル経由での質問がある場合は、まず**科目チーム**の各質問用チャネルに投稿します。

- 科目に関する一般的な質問は [質問チャネル](#)
- 各回の演習内容に関する質問は**科目チーム**内の「第 回 xx-xx 質問用チャネル」

へ、以下の内容を投稿してください。

1. **オンライン・対面の別**(対面で座席位置を伝える場合は(机シールの番号ではなく)デスクトップPCに貼られたシール番号を伝えて下さい。)
2. **質問の内容とそれに対して自分ですでに試みた内容**
3. **自分のPCの実行環境など**

また、他の人が見える場所にソースコードなどを置くことは禁止します[Sharif-Judge に提

出されたソースファイルは、その正否に関わらずTAと教員が確認できます。チャットやメールでのソースファイルの送信も行ってはいけません。

良い質問の例：

609実習室の77番の席で対面での対応をお願いします。〇〇のインストールがうまくできません。演習課題 のページで 1-2 まで出来たのですが、1-3 のXXXというコマンド入力で以下のようなエラーが出ます。エラー内容で検索して〇〇YYYというページを参考に、ZZZZ を試してみたのですが改善せず手詰まりです〇〇Windows10 Home 上のWSL2 Ubuntu 20.04LTS のターミナル上での実行です。

悪い質問の例：

演習課題 1-3 ができません。どうしたらいいのでしょうか？

投稿された質問に対してTAとさのが返信、またはチャットで対応しますので、他の作業を進めつつお待ち下さい。

その他、PC設定などの一般的な質問に関しては[オンラインサポート_先端理工](#)チームでも受け付けていますので、気軽に利用してみてください（数理を中心に学部4年生や院生の学生スタッフと教員スタッフが平日の授業時間中対応しています）。後期からは1-443で対面でのサポートも開始される予定です。詳細はオンラインサポートチームのアナウンスなどを確認して下さい。

また、数理固有のサポート体制としては、火3の[数理情報基礎演習B](#)や、昼休みに院生LAのサポートが受けられる[Mathラウンジ](#)などもあります。積極的に利用して下さい。

1020火〇〇TAも時間外でのオンラインの質問対応が可能となりました。

演習課題 ex02-1

この科目では、プログラミング課題の提示と提出に、Sharif-Judge というオンライン・ジャッジ（自動採点）システムを利用します。

Step1. Sharif-Judge アカウントの確認とログイン

[龍大Gmail](#) に以下のような内容のメールが届きます（第2回の開始後に送信します）。メール内のYour usernameとYour password に〇〇Sharif-Judge 用のユーザー名と初期パスワードが記載されています。

From: Sharif Judge Admin sharif-admin@math.ryukoku.ac.jp

Subject: Sharif Judge Username and Password

Hello! You are registered in Sharif Judge at <https://judge.st.ryukoku.ac.jp:8481/> as student.
Your username: testuser
Your password: zS31xF

You can log in at <https://judge.st.ryukoku.ac.jp:8481/>

プログラミングII用のSharif-Judgeにアクセスして、このユーザー名 初期パスワードでシステムにログインできることを確認して下さい。

Step2. 課題の提出練習

Sharif-Judgeの使い方を参考にしながら、演習課題02にリストされたプログラミング課題を提出して下さい。まずは、提出練習用の1.ハローに取り組んで下さい。

1.ハローを正しく提出できたら、続きの練習用課題 2.ハロー2 3.素数判定 4.提出のみ課題 に取り組みます。

3.素数判定までの課題は、提出されたコードをシステムがコンパイル・実行して、正しく動作するかを自動採点します。一方、4.提出のみ課題は、提出時に動作の確認を行いません（間違ったプログラムでもそのまま提出完了となる）。提出のみの課題であるかどうかは、問題リストから確認できます（右端のUpload Only列）。

Step3. 今回課題の提出条件をクリアする

各回の演習問題には、**必須問題**が含まれています（今回は 1.ハロー ~ 4.提出のみ課題の4問）。**必須課題は必ず提出して下さい。**

必須ではない問題は、各自で自由に選択して取り組み、提出することができます。

また、それぞれの問題には異なる配点がなされています（問題リストのScore列）。今回の課題では、1.ハロー や 2.ハロー2 はそれぞれ10点、最後の8.カウントアップダウンには50点が配点されています。これらの配点は、各問のおおよその難易度を反映したものです。

各回の演習では、演習問題セット（今回は演習問題02の1セット）ごとの得点合計で**100点以上**を取得することが、その演習問題セットのクリア条件となります。得点合計には必須課題の得点も含まれます。

From:
<https://www-slab.math.ryukoku.ac.jp/> - [www-slab.math](https://www-slab.math.ryukoku.ac.jp/)

Permanent link:
<https://www-slab.math.ryukoku.ac.jp/lecture/prog2/2020/ex02>

Last update: **2020/09/28 12:15**

